

# HDR データのインポート ～ハイパーキューブオブジェクトの作成

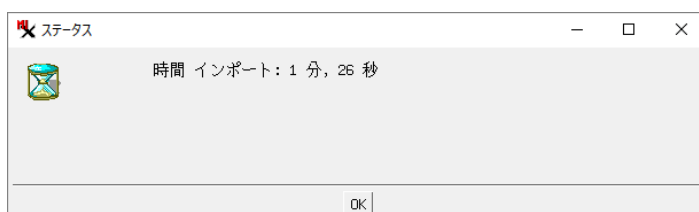
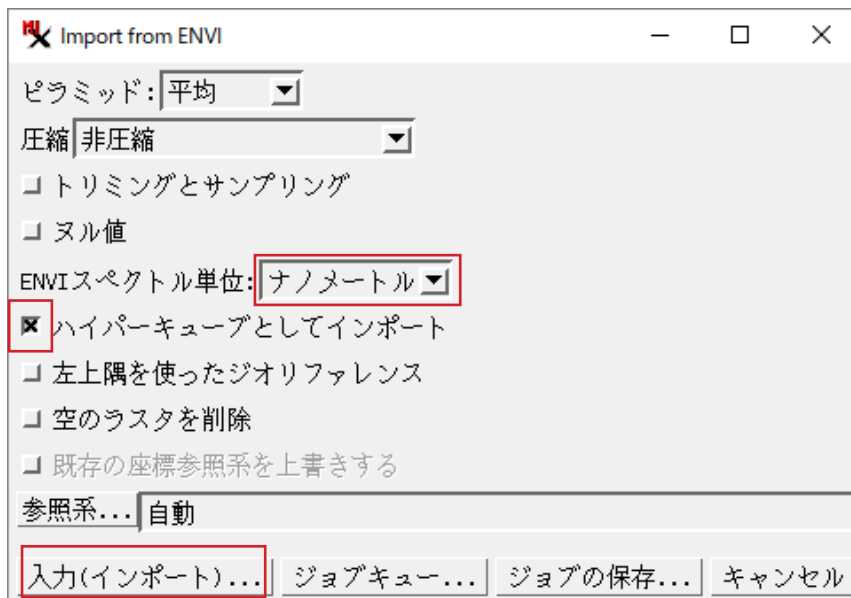
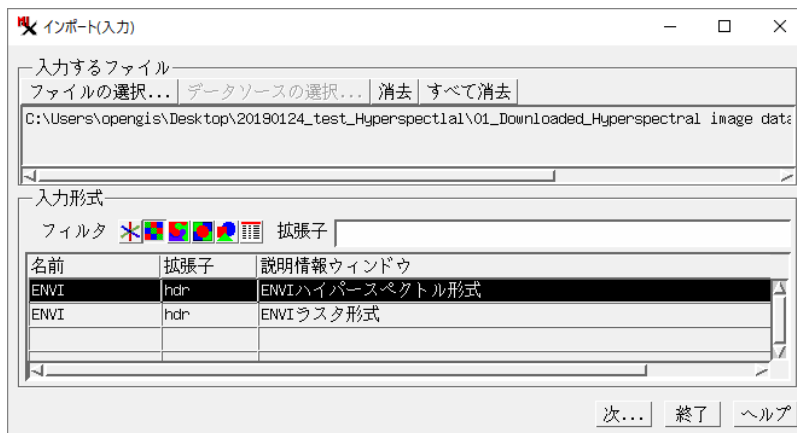
USGS のハイパースペクトルデータ

<https://www.sciencebase.gov/catalog/item/59fb5d77e4b0531197b1638b>

※サンプルデータ情報

Hyperspectral image data from the Snake River in Grand Teton National Park, WY, August 23, 2015

- 1) サンプルデータは、[メイン]>[インポート]で取り込みます。  
入力形式：「ENVIハイパースペクトル形式」  
インポートするデータ：SnakeHyperspectralImage08232015sub.hdr

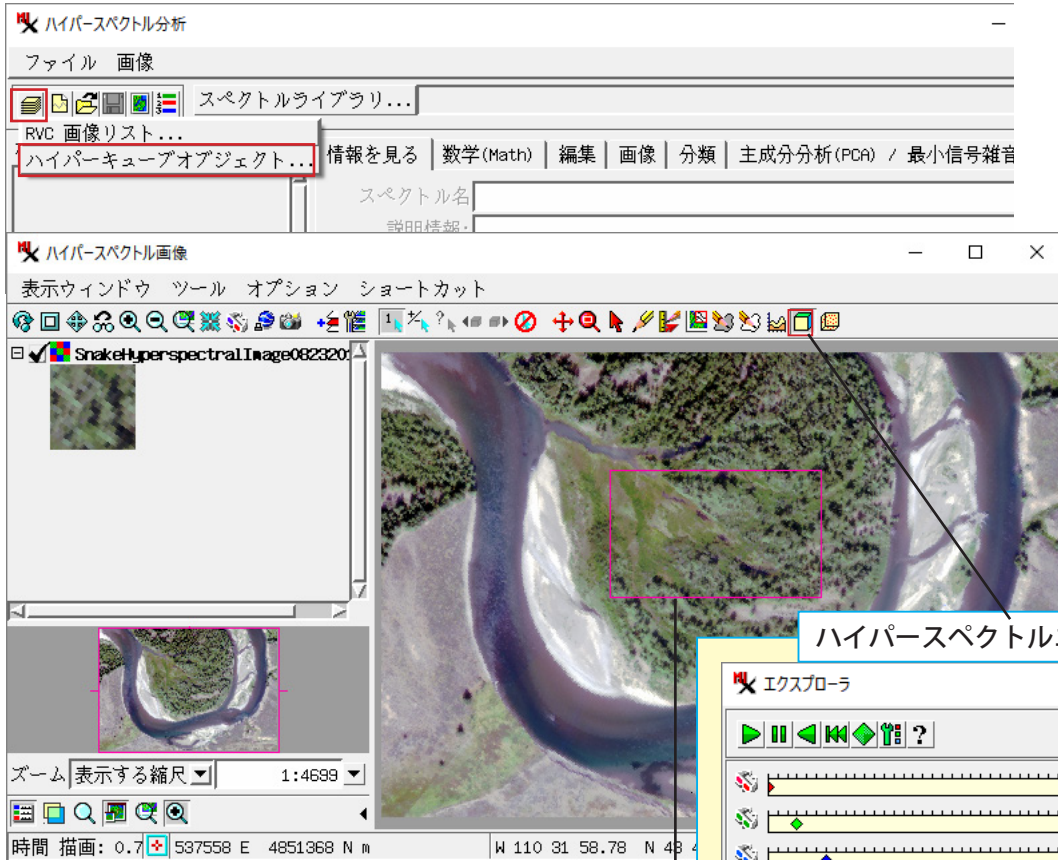


インポート完了

2) ハイパーキューブオブジェクトを開いて処理を行います (機能の一部紹介)

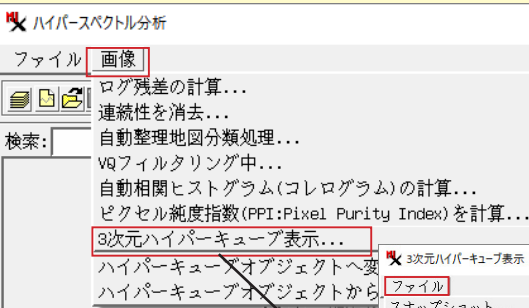
メニューから [画像] > [ハイパースペクトル] を選びます。

[開く] > [ハイパーキューブオブジェクト] を選び、変換したファイルを選択



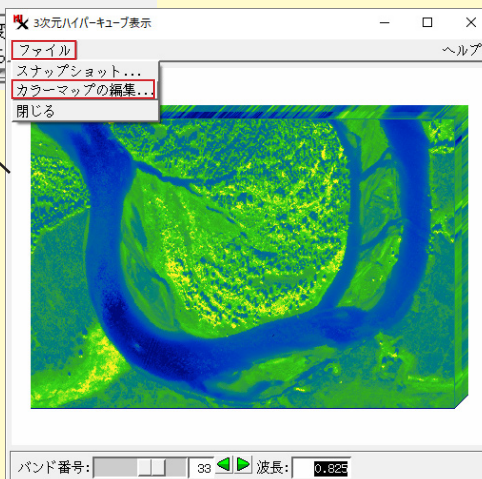
3次元ハイパーキューブ表示

[画像] > [3次元ハイパーキューブ表示]

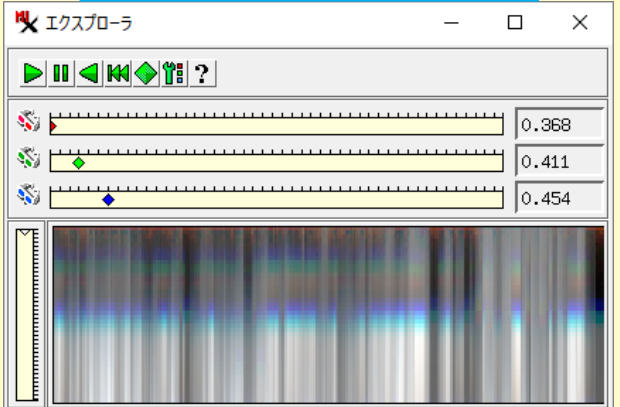


[ファイル] > [カラーマップの編集] でカラーを設定します。

右図に適用したパレット  
: CET Uniform  
Perceptual Linear bgy10-95  
c74



ハイパースペクトルエクスプローラ



表示ウィンドウ上部のアイコン [Hyperspectral Explorer] を押した状態で、表示画面上をドラッグし (上図ピンク色枠) 右ボタンをクリックします。

※その他の機能や詳細は TNT 入門「ハイパースペクトル 画像の解析」をご覧ください。